



伊丹市自治会連合会

自治連だより

伊丹市自治会連合会とは住民主体による暮らしやすいまちづくりを
目的として伊丹市内の自治会により組織されている団体です

第56号

■令和7(2025)年7月
■発行 伊丹市自治会連合会
■編集 広報委員会

—目次—

- 1面 伊丹市の自治会数
- 2面 自治会があるってすてき♡
哲学カフェ
- 3面 自治会があるってすてき♡
哲学カフェ
- 4面 自治会連合会の活動
新しい活動拠点オープン



伊丹市自治会連合会HP



自治連だより

伊丹市の自治会数



Q

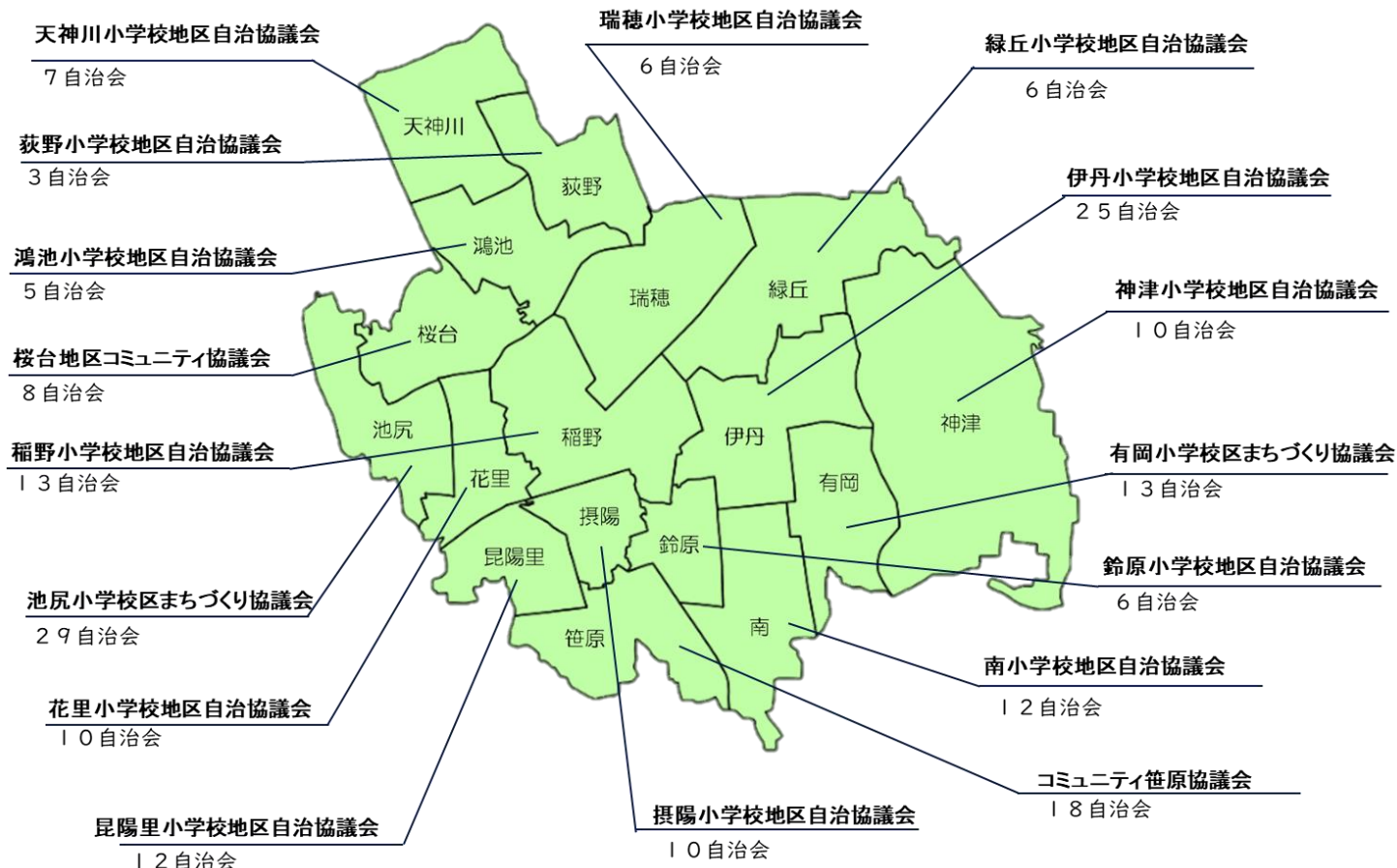
伊丹市に自治会ってどのくらいあるの？

令和7年4月1日現在で**193**あるよ。

Q

それぞれの自治会が単独で活動しているの？

普段はそれぞれの自治会が単独で活動しているけど、多くの自治会は、各小学校区ごとに住民が立ち上げた地域自治組織（自治協議会など）などのコミュニティに参加して、自治会同士やその他の団体とも連携してそこでも活動しているよ。



自治会数は各小学校区ごとの自治会数を記載





自治会連合会広報委員会

令和7年3月24日（月）12名

土岐博さん（箕面市の自治会を考える会主宰）にファシリテーターをお願いし「自治会があるってすてき♡」をテーマに哲学カフェを開催しました。

（**土**土岐さん **委**広報委員 **事**事務局）



土 専門は核物理。ずっと研究してきた。大学教授もした。15年前に退職、世の中は認知症が話題になっていた。大阪大学の分野を横断した仲間と認知症の勉強会をした。認知症は誰でもなるもの、認知症の人も含めて社会を考えることが大切という結論に至った。図書館で高齢男性が暇を持て余している。高齢男性が集える場所が必要。「哲学」の名をつけたカフェなら来てもらえるのではないかな。7年前に箕面市包括支援センターに相談し、哲学カフェを立ち上げた。人の発言を否定しないというルールでみなさんリラックスして参加している。世の中は自治会がなくなってきている流れだが、地域で温かく過ごせたらいいのではないかな。みなさんどんな活動をされていますか？

自治会長をやってみて

委 小さい自治会の会長をしている。顔見知りが増え、どこにすんでいるのかわかる関係。

委 定年後10年くらいは遊んでいた。頼まれて自治会長になった。お祭りの手伝いくらいしかしてこなかった。女の人は強い。すぐに話ができる。元々地域でつながっている。

委 土岐さんと同い年。65歳までモーレツサラリーマン。地域との関わりはなかった。地域への恩返しと思い8年間会長をしている。地域で声をかけ合う関係ができていく。ほとんどの仕事を一人でしているのでしんどくなってきた。

委 会長1年目、アップアップしてこなしている。自治協議会などにも参加しないとイケない。イベントも参加者が少なくコスパ悪いと言われる。

委 会長6年目。60～70歳過ぎても仕事する人が多く役員する人が少ない。自治会は自分の居場所になっている。多くの人とも知り合えた。笛吹けど・・・自治会へのお誘いピラを入れたが反応は0。面談が大切。すてきなことあれば。

委 70軒ほどの地区で全員が自治会に入っている。空き家は見守りをお願いされる。役員は順番にしている。新しい家の人とも協力はしてくれるが役員は無理。焼肉などの集まりをしている。

委 数年前まで95世帯あったが今は減ってきている。回覧板を回すのもしんどいと高齢者が抜けていく。班長の集まりも減らし、老人会の月1回の集まりも負担だと言うが、減らすのがいいのか、集まるのがいいのか。自治会加入が当たり前でなくPTAも崩壊し、自治会も崩壊していくのか。



委 300世帯ほどの自治会。退職後に会長してくれと言われた。みんなで経営している感覚が大事。一人暮らしの高齢者が亡くなったら面倒は誰が見るのか。空き家がアライグマの巣になっている。

事 自治会はすてき♡つながりができる。共働きなので子どものことを知っておいてもらえたら安心。

委 自治会の仕組みは素晴らしい。知名度、情報ネットワーク、行政とのつながりもある。魅力をアピールすることが大切。地域自治組織ができて自治会がなければ絵に描いた餅になってしまう。地域コミュニティが消滅する。あまりにも惜しい。

土 夫婦二人暮らしでどちらが亡くなっても残った一人が楽しく生きられる社会にしたい。一人でも安心して暮らせる社会。箕面市は自治会連合会がない。各自治会が個々に市とつながっているだけ。自治会の横のつながり、連合会を作りたい。

事 自治会は可能性を秘めている、ポテンシャルがある。自治会がなければ家族でできることしかできない。数百の世帯の他人同士が力を合わせている。なくなったらそのかわりができるのか。

土 自治会から見て自治会連合会はどんな感じ？

委 自治会連合会より自治協議会（地域自治組織）の方が身近で結びつきが強い。



ゴミ 掃除 防災 つながり

- +** ゴミステーションの管理はどうしているの？
- 委** ゴミステーションを新たに設置するときは自治会長の了解を得ることになっているが、了解しなくても市は許可する。何のための了解？
- 委** ゴミ回収の日、自治会長は残ったゴミの処理や掃除などで駆け回っている。掃除当番は順番制。
- 委** ゴミ箱は自治会又は自治協議会で購入している。
- +** 箕面市ではゴミステーションはない。個別に市の指定ゴミ袋に入れて出すだけ。ゴミステーションについては自治会も強制力が必要？それが居場所になるかも。
- 委** 居場所にはなるけど必ずしも必要か？生活とどっちが大切か。年金でカツカツしているのに、仕事や対価を得られるものの方がいい。
- +** 強制しなければ人は出てこない。地域で幸せを感じるには・・・
- 委** 時間があれば何に使うのか？
- +** 公園の掃除などは自治会がしているの？
- 委** 市からの委託で自治会が請け負う。公園と児童遊園地で委託料が違う。水やりもする。
- 委** 思い出作りとしてラジオ体操を、情操教育として火の用心をしている。参加者が0になったらやめが地域のいい思い出を作ってあげたい。
- 委** 今の大人は子ども時代にそういう思い出があるが、今の子どもはその思い出がないまま育つ。亡くなくても連絡が来ない。葬儀への参列も減った。
- 委** 防災や安全について関心のある人が多い。

- 委** 要支援者名簿が配られるが自治会に入っていない人も載っている。
- 委** 災害時の自治会ごとの担当を決めた。在宅避難マニュアルも作り、防災演習もしている。
- 委** 食事よりトイレが最優先課題。
- 委** 顔見知りの人を増やすことが大切。知らない人との避難生活は不安。
- 委** 地域のつながりが強いところは災害時に強い。
- +** 伊丹市は自治協議会があるからすてき♡
- 委** 仲間が必要。
- 委** 自治会は会社とは違う。新人が仕事を覚えてとならず、会長一人がやることが多い。
- +** 自治会連合会とか自治協議会とかは自治会がしっかりしているから成り立っている？この市役所も1階にまちづくり課がありすごく立派。男性を引っ張り出すのが大切では？
- 委** 憩いの場を作っても来ない。その人の家に出向くとしゃべる。家に集まる。
- 委** 高齢者にしても若者にしても居場所があればいい。
- 委** 以前は飲み会グループが自治会の応援をしていた。毎月飲み会をしていた。今は高齢者10人くらいになってしまった。
- +** みんなが集まる、という思いを持ってできることをやっていくことが大切。餅つきの話、若い人を育てる、後継者を見つけること・・・



振り返り



- +** 自治会があることでまちが動いている。自治会に入らない人が増えている、どう乗り越えていくか？箕面市では自治会は個々で活動し、行政からも離れている。市はクレームを受け付けるくらい。
- 委** すてき♡より大変！というイメージ。自治会の魅力をどうアピールしたらよいのか。
- +** ゴミステーションの運営などが存在意義か？
- 委** 自治会はいろんな人と出会えてつながれる。
- 委** すてき♡であるべき！コミュニケーションが大切。でも仕事で忙しい人とはどうやって？
- 事** 哲学カフェでみなさん自由にお喋りしていた。
- +** 自由な場でないと事務局はしゃべらない。
- 事** それぞれの会長と一緒に何かしたら面白いだろうなあ。自治会長って悪いものという印象を持つ人もいるが実際にやってみると全然違う。
- +** どこかでスイッチが入ると面白くなる。どうスイッチを入れるか。人生の中で地域のために働いた、という思い出があると幸せ。順番が回ってきたらやりましょうという雰囲気大切。



■哲学カフェを終えて



今回図らずも浮き彫りになったのは、伊丹市の自治会はいかに行政との結びつきが強いのかということ。市政に協力しているということは、市民の生活を支えているということ。近年「参画と協働」とよく言われるが、私たちはもうとっくに伊丹市と協働している。これは伊丹市の大きな財産と言える。このことをきちんと市民にアピールしていった方がいいのではないかな。その上で、自治会をもっと面白いものにしていく、みんなが自治会を育てていくという発想が大切なのではないかと思う。そのためには仲間が必要。自治会の横のつながりを広げ、連携して自治会の魅力を発信していくことが欠かせない。伊丹市が「自治会があるのですてき♡」なまちになればどんなに素晴らしいだろうと思えた哲学カフェだった。

自治会連合会の活動



定期総会

令和7年5月30日（金）伊丹市役所 60名

市役所5階の会場で開催いたしました。全ての報告・議案が可決承認され、続いて退任役員、退任自治会長のみなさまへ感謝状と記念品の贈呈が行われ、和やかな雰囲気の中で終了しました。



新任自治会長研修会

令和7年5月22日（木）伊丹市役所 22名

新しく自治会長になられたタイミングで毎年研修会を実施しています。新任自治会長はもちろん、全自治会長のみなさまのお役に立つ、今回の研修会資料を紹介いたしますので、二次元コードからご覧ください。



新しい市長にご挨拶

三役・事務局長で市長室を訪れました。
中田慎也市長、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【伊丹】伊丹小学校地区自治協議会

新しい活動拠点オープン いたみ交流センター

2021年10月「新センタープロジェクトチーム」(*1)が発足し、約3年半の間、月に一度会議を開催し「いたみ交流センター」オープンに向けて業務効率化（予約・会計をデジタル化）(*2)や利用時のルールづくりを中心に話し合いを行いました。
令和7（2025）年3月22日に「いたみ交流センター」1階で開所式を行い、4月1日に「いたみ交流センター」がオープンしました。エレベーターとバリアフリートイレを設置し、どなたも気軽に利用できます。1階には収納式舞台やキッチン、2階には壁面鏡のある多目的室、3階には防音仕様の多目的室を配置しています。自治協議会・自治会活動、子ども食堂、趣味を通じた住民同士の交流を図る場所として利用されています。

(*1)自治会長と有識者で構成されているボランティア団体

(*2)利用者が携帯を使いWEB予約・クレジット決済ができるシステムの導入



開所式



自治協総会



あじさい食堂・調理の様子



あじさい食堂・遊びの様子



予約会受付の様子



予約会会計の様子



活動の様子(卓球)



活動の様子(習字)